

牛久：学校周辺に見る自然

第22号 牛久二小

2013年9月26日発行

＜ 夏の終わりの生きもの観察 ②動物 ＞

9/6、牛久二小4年生との、夏の終わりの校庭の生きもの観察。今回は、動物。



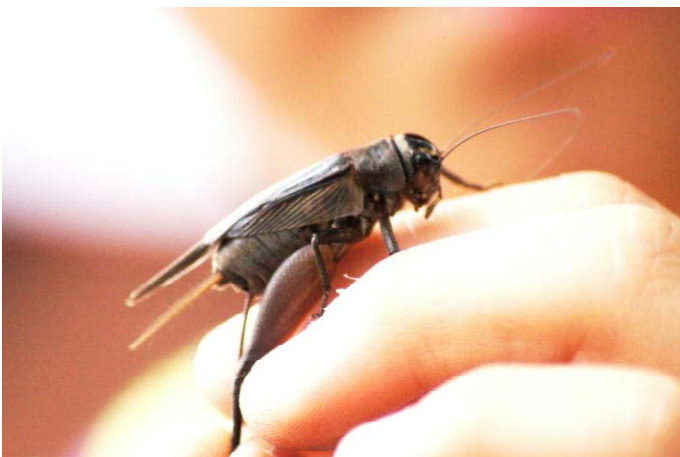
オオカマキリをつかまえました。夏休み前と、ど
うちがいますか？ そう、はねが大きくのびていま
した。成虫(せいちゅう)ですね。お腹も大きく、^{さんらん}産卵も
近いのかもしれませんが。たったの2ヶ月くらいで、ず
いぶんと変わりましたね。ところで、カマキリはバッ
タと同じく緑色のと^{かつしよく}褐色のとして、大きさも近く、大
きなはねで飛んだりするからでしょうか、バッタに近
い仲間とされたこともありましたが、現在ではあまり
近い仲間ではないと考えられていて、別のグループに
入れられています。また、バッタの仲間は^{そうしよく}草食か^{ざっしよく}雑食
ですが、カマキリの仲間は肉食のハンターですね。バ
ッタなど、他の^{こんちゅう}昆虫といっしょには育てられませんの
で、気をつけましょう。

産卵が近いのか、お腹が大きくふくれたオオカマキリ。



ショウリョウバッタの緑色型(左)と褐色型(右)。どちらも、はねがのびた成虫ですね。

ショウリョウバッタも、体が大きくなっただけでなく、はねが大きくのびています。緑色のと褐色のと両方見つけましたね。



秋に「コロコロ…リー」と鳴く、**エンマコオロギ**も見つけました。この声が聞こえ始めると、そういえば風も…、秋も近いなと感じます。ただし、写真は^{さんらんかん}産卵管がありメスなので鳴きません。スズムシなど他の鳴く虫もそうですが、鳴くはねを持っているのはオスだけで、メスと呼んだりなわばり^{せんげん}宣言するために鳴くのだそうです。^{ざっしよく}雑食で、草だけでなく^{やさい}野菜くずや他の昆虫、ミミズなども食べてしまいます。

秋を感じさせる、エンマコオロギ(メス)。



チョウも飛んでいました。ヒョウがらもよのチョウは、すっかりおなじみとなった**ツマグロヒョウモン**のオス。もともと南の方のチョウでしたが、いまでは当たり前のように見られますね。

はねのうらがまっ白にかがや輝いて見えるのは、その名も**ウラギンシジミ**(裏銀しじみ)。写真でははねを閉じているので分かりませんが、開くと表はオレンジ色のもようがあるのでオスです。秋には幼虫ようちゅうがクズを食べるので、クズが茂る二小校庭の斜面や道路沿いなどでもよく見かけるようになります。

アベリアのみつを吸っていたのは、**イチモンジセセリ**。9月ころの秋に、特によく見かけます。いろいろな花のみつを吸いますが、幼虫はイネのなかまの葉を食べます。

はねを休めるツマグロヒョウモンのオス(上)と、名前の通りはねの裏がまっ白なウラギンシジミ(左下)、アベリアのみつを吸うイチモンジセセリ(右下)。

その他、何度か登場している**セスジズメ**(ガ)の幼虫と、ガの卵らしきものが見つかりました。



セスジズメ(ガ)の幼虫(左)とガの卵(右)。



トンボの仲間では写真の**シオカラトンボ**と**ナツアカネ**、**ウスバキトンボ**が多く見られ

れました(24年度31号参考)。それと、ときどき**ギンヤンマ**がやってきては、他のトンボを追いはらっていましたね。

落ち葉にとまり、はねを休めるシオカラトンボのメス(左)と、**なわばりをパトロール中のギンヤンマ(右)**。



セミの仲間では、写真の**アブラゼミ**や**ツクツクボウシ**、**ヒグラシ**がまだ元気に鳴いていました。抜けがらも見つけましたね。

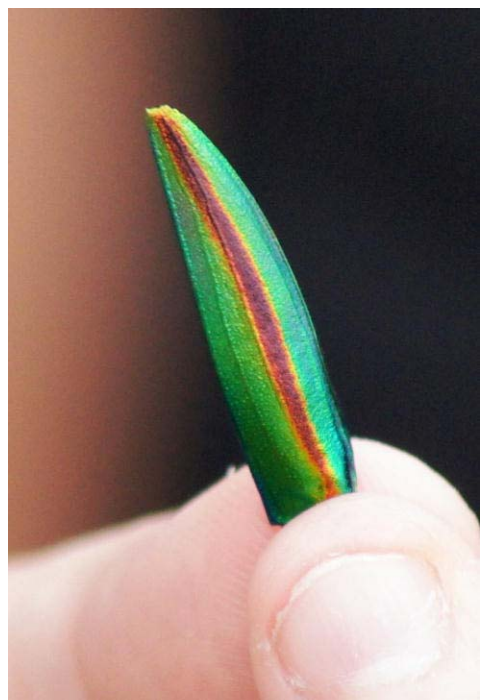
まだ元気に鳴いていたアブラゼミ(左)と、**その抜けがら(右)**。

その他、**オオハキリバチ**の死体や、美しい**タマムシ**のはね、葉を巻いた**カバキコマチグモ(毒グモ)**の巣、**アメリカザリガニ**なども見つけました。ビオトープにザリガニが増えてしまったのは、心配ですね。なお、ハチによっては死体でも針が残っていれば刺すことがあるそうですから、気をつけましよう。

【理科支援員：宮内】



は、心配ですね。なお、ハチによっては死体でも針が残っていれば刺すことがあるそうですから、気をつけましよう。



ショウリョウバッタの**緑色型(左)**と**褐色型(右)**。どちらも、はねがのびた成虫ですね。